

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	予防行政推進事業				シート番号	090-027
担当部署名	消防	局	総務・予防	部	総務・予防査察・危険物保安	課 評価責任者(課長名) 古川・山領・妙中

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	7	地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	- 年度		終了(予定)年度	- 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	消防法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	防火・防災意識の普及啓発等を図るため、119だよりの配布及び消防出初式を実施。 また、危険物事故防止等を図るため、危険物安全大会を実施するとともに、高度な専門的技術的診断が要求される特定屋外タンク貯蔵所の審査業務を委託。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民、事業所				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	・市民や事業所に対して防火思想の普及啓発及び消防行政に対して理解を深めてもらう。 ・危険物保有事業所に対して危険物事故防止等の防止意識の高揚を図る。 ・高度の専門技術的判断が要求される特定屋外タンク貯蔵所の技術基準の審査をより確実に実施する。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・火災予防や消防業務、高齢者防火訪問実施についての情報を盛り込んだ「119だより(チラシ)」を「広報さかい」及び「広報たかいし」6月号に折り込み、堺市及び高石市の全戸へ配布する。 ・消防出初式を年頭に行い、消防職団員等の士気の高揚を図るため、消防車両分列行進、救難消火訓練、三連はしご演技及び一斉放水などを実施。また市民や事業所に対する防火・防災思想の普及を図るため、ファイアーフェスタと題して、展示物や広報活動等のイベントブースなどを設置している。 ・危険物安全大会では危険物の保安に尽力した事業所及び個人を表彰するとともに、防災講演を実施し危険物に対する防災意識の高揚及び知識の普及を図る。 ・特定屋外タンク貯蔵所の設置又は変更の工事を行う事業所からの申請に基づき審査手数料を徴収し、審査・検査にかかる事務の一部を中立的かつ専門技術を有する審査機関である危険物保安技術協会に委託。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ニワダニネットワーク(株)、西尾レントオール(株)、関西舞台(株)、危険物保安技術協会					

Ⅲ. 投入量

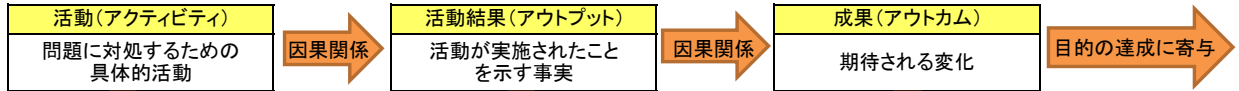
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11 事業費 (a)	千円	67,272	41,897	46,336	32,193	42,024	26,488	43,425
主な事業費内訳								
委託料	千円	62,862	37,698	40,954	27,653	37,025	22,943	38,826
需用費・備品購入費	千円	3,887	3,556	4,507	3,972	4,109	3,127	3,230
使用料	千円	458	431	516	499	505	333	887
役務費等	千円	65	212	359	69	385	85	482
財源内訳								
国・府支出金	千円							
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	56,734	34,726	37,020	23,301	34,735	16,965	42,119
市債	千円							
その他(指定寄付金等)	千円		203	650	215	530	165	520
一般財源	千円	10,538	6,968	8,666	8,677	6,759	9,358	786
12 人件費 (b)	千円	16,400	16,400	16,400	16,400	12,960	12,960	13,120
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	83,672	58,297	62,736	48,593	54,984	39,448	56,545

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	予防行政推進事業	シート番号	090-027
-------	----------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



<p>[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載</p> <p>[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載</p>	<p>【達成率に基づいた評価基準】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>評価</th> <th>達成率</th> </tr> <tr> <td>大変良い</td> <td>120%以上</td> </tr> <tr> <td>良い</td> <td>100%以上120%未満</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>80%以上100%未満</td> </tr> <tr> <td>少し悪い</td> <td>60%以上80%未満</td> </tr> <tr> <td>悪い</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>	評価	達成率	大変良い	120%以上	良い	100%以上120%未満	普通	80%以上100%未満	少し悪い	60%以上80%未満	悪い	60%未満
評価	達成率												
大変良い	120%以上												
良い	100%以上120%未満												
普通	80%以上100%未満												
少し悪い	60%以上80%未満												
悪い	60%未満												

#### 事業の活動実績や成果

		令和元年度実績						
活動実績と成果	14	<p>・119だより(チラシ)を広報さかい及び広報たかいしに折り込み、全戸(堺市・高石市)に配布することで、広く市民に火災予防啓発ができた。(火災件数は前年と比べて減少した。)</p> <p>また、高齢者防火訪問の内容も掲載しており、当該事業の円滑な実施にもつながっている。</p> <p>チラシ宅配業者との契約事務については、業者を新たに選定するのではなく、広報さかい、広報たかいしを配達している宅配業者と随意契約を交わすことで、新たに業者を選定する必要がなくなり、事務の効率化が図られている。</p> <p>・危険物安全月間の6月中に堺市危険物安全大会を開催し、危険物保有事業所関係者を中心に293名に参加していただいた。当該大会の第1部では、危険物の保安の確保に尽力している優良な事業所として市長表彰2社及び消防長表彰3社、優良危険物保安監督者又は優良危険物取扱者として市長表彰2名及び消防長表彰9名の表彰を行い、他の関係者に対しても防災意識の高揚を図った。また、第2部では、危険物に係る事故防止に関する防災講演を行い、危険物保有事業所の関係者に対して広く啓発することができた。</p>						
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				目標値	433,500	409,500	409,500	409,500
				実績値	404,883	405,448	405,848	
				達成率	93%	99%	99%	
				評価	普通	普通	普通	
			算出方法・設定根拠など					
			配布実績に基づき算出					
	16	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				目標値	300	300	300	300
			実績値	301	254	293		
			達成率	100%	85%	98%		
			評価	良い	普通	普通		
		算出方法・設定根拠など						
		参加人数が多いほど、より多くの人に対して危険物にかかる防災意識の高揚が見込まれるため指標として設定。						

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	119だより需要数(配布数)	枚	404,883	405,448	405,848
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,711	3,654	3,656
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	9	9	9
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	危険物安全大会の参加者	人	301	254	293
	②	上記①にかかる年間経費	千円	6,786	6,819	7,005
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	22,545	26,847	23,908
	備考(算出についての説明等)					

#### 業績の分析

19	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>・火災予防や消防業務に関する情報を、堺市及び高石市の世帯に対し、紙媒体(チラシ)で提供することにより、幅広く防火思想の普及啓発ができ、結果として前年度の火災件数を下回ることができた。また高齢者防火訪問実施についての情報を事前に掲載することで、当該事業を円滑に実施することができた。</p> <p>今後も、当局管内の火災発生状況や社会情勢等を鑑み、より市民が分かりやすい紙面に工夫していく必要がある。</p> <p>・危険物安全大会については毎年6月の危険物安全月間中に実施できるよう計画的に事務に取り組むことができた。平成30年度は参加者数が減少したことから令和元年度は開催案内をホームページに掲載する等事前の広報を充実させたことにより概ね目標を達成できたと思われる。</p> <p>・消防出初式については、当日の悪天候が参加者数の大幅な減少に繋がったと考えられるが、昨年度は、例年のイベントブースに加え、新たに防災用品などの物品販売を実施したことで、市民の防火・防災意識の普及に繋がった。</p>

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	予防行政推進事業	シート番号	090-027
-------	----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒  確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 予防行政推進事業にかかる費用のうち約80%は特定屋外タンク貯蔵所審査業務であり、当該業務は法令に基づく義務的な業務であるため、当該事業そのものを廃止することはできない。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 上欄に同じ。	<b>休止の場合の再開時期</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> ・危険物安全大会のあり方を見直すことで、コスト縮減を図ることができる。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> ・危険物安全大会は多数の参加者が屋内会場に集まり、3密が避けられない状態となるため、大会のあり方を見直す。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 ( 広報課 ) 関連事業名 ( ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ( )	理由・説明	多様な広報媒体を利用し、市民の防火意識の高揚を図るため、運用手法等について、庁内関係部局と連携しながら改善手法を検討する。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	予防行政推進事業における主な業務は、119だより宅配業務、消防出初式会場設営外業務、危険物安全大会業務、特定屋外タンク貯蔵所審査業務である。 このうち、危険物安全大会業務については、そのあり方を見直すことでコスト縮減を図るとともに、3密を回避し新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努める。 なお、予防行政推進事業にかかる費用のうち約80%は特定屋外タンク貯蔵所審査業務であるが、当該業務は法令に基づく義務的な業務であるため、改善・見直しの余地は少ない業務である。		